

国土交通省 清水港湾事務所 広報紙

みなとしみず

SINCE 1990.6

～清水港をはじめ静岡県内の「みなと」の旬な情報をお届けします！～

発行



国土交通省 中部地方整備局
清水港湾事務所



静岡県清水区日の出町7番2号

事務所HP

TEL 054-352-4146（代表）

<https://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

清水港の貝島地区に巨大な箱がやってきました！

令和6年11月、清水港の貝島地区に巨大な鋼製の箱がやってきました。

この箱は鋼殻(こうかく)といい、新興津地区の岸壁延伸事業(※)で使用するケーソンの一部です。

三重県津市で製作され、高さ約20m、重量約380トンあります。清水港まで台船に乗って運搬され、起重機船により貝島地区に陸揚げされました。現在は鋼殻の周りにコンクリートを打設しており、完成後には新興津地区まで船で運搬し、下図の岸壁延伸部分に設置される予定です。



①三重県・津工場で作成



②船で運搬



③起重機船で陸揚げ



④コンクリート打設

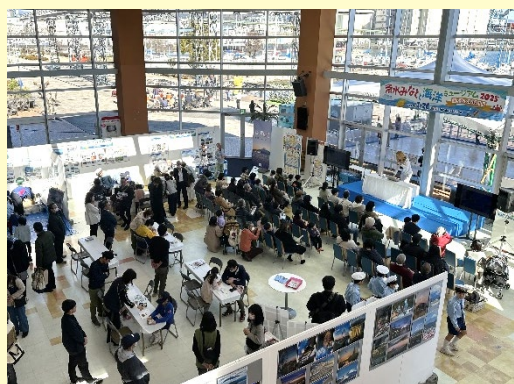
【※新興津岸壁延伸事業について】

近年、紙の原料となるパルプの輸入量増加や貨物船の大型化により岸壁利用に混雑が生じています。こうした課題に対応するため、新興津岸壁を200m延伸する工事を進めています。岸壁延伸によりコンテナ船や大型パルプ運搬船の3隻同時着岸が可能となり、荷役作業の効率化が図られます。



「清水みなとと海洋ミュージアム2025」に出展しました！

1月26日、「清水みなとと海洋ミュージアム2025」(主催：静岡市)がエスパルスドリームプラザにて開催されました。このイベントは、港での楽しみ方や清水港の魅力について学ぶことを目的とし、トークイベント、ワークショップ、展示等が行われ、事務所からブースを出展しました。事務所ブースでは、波を起こせる防波堤模型やパネルを展示し、約200名の方に訪問いただきました。防波堤の役割をはじめ、清水港や事務所の取り組みについて親しみを持っていただく良い機会になりました。



イベント全体の様子



清水港湾事務所ブースの様子



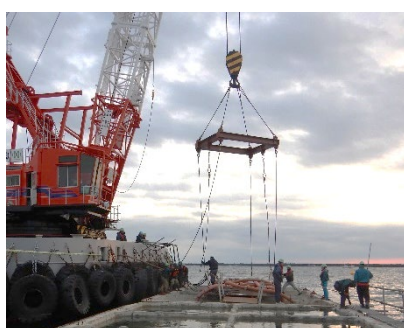
港の安全パトロールを行っています！

清水港湾事務所では、1月に清水港、御前崎港、下田港において工事現場の安全パトロールを実施しました。港の工事は、天候に左右されやすく常に危険が伴います。今後も定期的に安全パトロールを実施し、各現場の無事故・無災害を目指します。

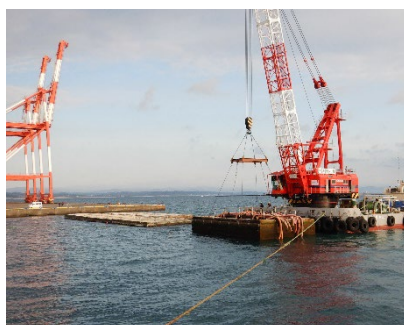
【清水港袖師地区岸壁改良工事】



【御前崎港岸壁改良工事】



【下田港防波堤東上部工事】



富士市で中部みなとオアシス会議を開催しました！

1月16日、中部地域における“みなとまちづくり”を考える会議「第14回中部みなとオアシス会議」（主催：中部地方整備局・中部みなとオアシス連絡協議会）を富士市にあるふじさんめっせにて開催しました。会議には、富士市長をはじめ、中部みなとオアシス連絡協議会関係者、田子の浦港関係者、中部管内港湾管理者及び港湾所在の自治体関係者約60名が参加し、みなとオアシスの取り組み状況や制度が紹介されました。



中部みなとオアシス会議全体の様子



みなとオアシス田子の浦 活動報告の様子

翌日の1月17日には、みなとオアシス田子の浦とその周辺観光施設の視察会が開かれました。富士山を一望できる富士山ドラゴンタワーや田子の浦港名物のしらすを味わえる漁協食堂など、観光客が訪れる施設が多くあり、さらなる田子の浦港の活性化が期待されます。



みなとオアシス田子の浦の代表施設の「田子の浦港漁協食堂」（左）と構成施設である「富士山ドラゴンタワー」（右）

12月にはイルミネーションも開催されました！



御前崎港港湾脱炭素推進協議会が開催されました！

12月18日、御前崎市において「第4回御前崎港港湾脱炭素化推進協議会」（事務局：静岡県）が行われました。

協議会には港湾関係者約40名が出席し、御前崎港における脱炭素化の実現のため、港湾地域の温室効果ガス排出ゼロを目指すカーボンニュートラルポートの形成に向けた取組や支援措置について報告がありました。

12/25～1/24には御前崎港港湾脱炭素化推進計画(案)についてのパブリックコメントが行われ、策定に向けた作業が進められています。



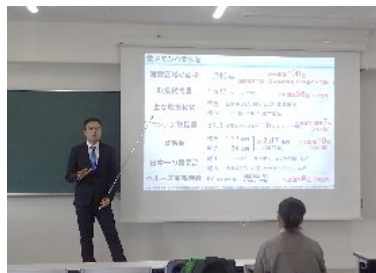
第4回御前崎港港湾脱炭素化推進協議会の様子

東海大学にて「海洋政策」の講義をしました！

清水港湾事務所では、持続可能で活力ある国土・地域づくり及び地域社会への貢献に向けて、東海大学静岡キャンパスと相互に連携・協力するための協定を令和5年3月24日に締結しました。

【事務所職員による講義】

協定に基づき、東海大学では「海洋政策」の授業が本年度秋学期に開講されており、田中所長が講義をしました。加えて、職員4名が自身の経歴や現在の業務内容を紹介しました。



田中所長による講義



御前崎港事務所
坪倉 幹浩



下田港事務所
金澤 宜大



第一建設管理官室
山城 義隆



企画調整課
高山 希望

職員による業務紹介

【清水港見学会】

授業の一環として、履修学生を対象とした清水港見学会を開催しました。学生は、新興津コンテナターミナル、清水マリビル、海上保安庁巡視船を見学しました。

新興津コンテナターミナルでは、実際にコンテナがトラックに積み込まれる様子やガントリークレーンを間近で見学し、清水マリビルからは清水港を一望し、港湾の役割について学びました。また、清水海上保安部巡視船の「おきつ」に乗船し、海上保安について理解を深める機会になりました。



清水港の概要説明



巡視船「おきつ」を見学



ガントリークレーンを見学

Port of Shimizuフォトコンテスト2024

1月25日、静岡駅にてPort of Shimizuフォトコンテスト2024の表彰式と作品展示会が行われました。第3回目となる今回のコンテストは、431点の応募があり、その中から見事入賞された方々の作品が発表されました。受賞作品など、詳しくは右側QRコードよりご覧ください！



表彰式の様子

詳しくはこちら！



海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時30分～12時、
13時～17時（土・日 祝祭日は除く）
携帯電話からもご利用いただけます

■お問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

TEL 054-352-4148

pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

清水港湾事務所では、学校、企業、自治会の皆様を対象にみなと見学会を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください

今年度最後のみなとしみずをお届けしました。今後も皆さまに港についてさらに知っていただけるよう情報を発信していきたいと思っております。次号は4月号です！今後ともよろしく願いいたします。

